

2023 年度臨床遺伝専門医試験受験予定の専攻医に関する実態調査

方法：Microsoft Forms（選択、記述式による）

調査期間：2022 年 8 月 4 日から 8 月 18 日まで

対象：320 名（施設内 217 名、施設外 103 名）

* 2023 年度臨床遺伝専門医試験を受験予定の専攻医

（2022 年度に臨床遺伝専門医試験の受験資格を有しながら受験できなかった専攻医を含む）

回答数（回収率）：124 名（39%）

結果：

●現時点（2022 年 8 月 1 日）で、2023 年度の専門医試験の受験要件を満たしていますか？

（n=124）

はい 25 名（20%）

いいえ 99 名（80%）

●満たしていない要件はどれですか？（複数回答）

（n=99）

遺伝医療 20 症例以上 72 名（73%）

ロールプレイ実習 68 名（69%）

論文発表 2 編以上（または学会発表）42 名（42%）

研修会参加 20 単位以上 18 名（18%）

学術集会参加 2 回以上 14 名（14%）

その他 6 名

●2022 年度の遺伝カウンセリング（GCRP）研修会は、周産期と成人期です。この GCRP を受講できたとして、2023 年度の専門医試験の受験申請に必要なロールプレイ数は確保できますか？

（n=99）

はい 43 名（43%）

いいえ 56 名（57%）

●足りないのはどの分野ですか？（複数回答）

（n=56）

小児期 44 名（79%）

腫瘍 27 名（48%）

そのほか 7 名

●研修環境について、ご意見等ありましたら記載してください。

回答数 47 名

ご回答いただきました皆様、ありがとうございました。アンケート結果は、今後の遺伝カウンセリング研修会、遺伝カウンセリングロールプレイ（GCRP）、遺伝性腫瘍セミナーを企画するにあたり、研修環境の改善に役立てさせていただきます。